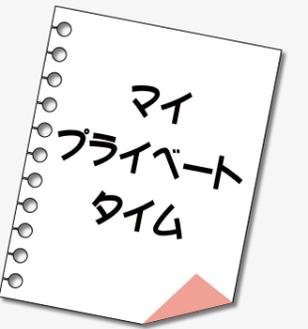


# 一会員として

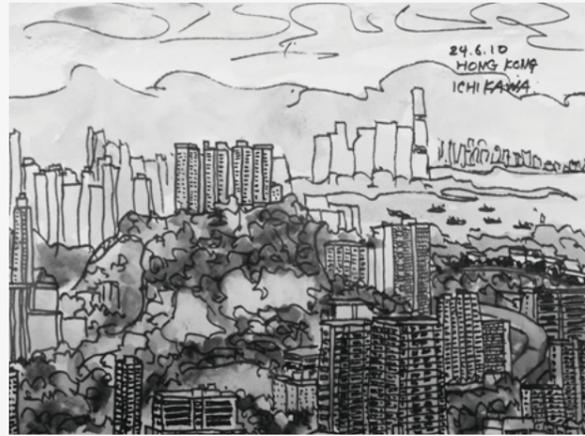
いちかわ あきお  
山形市長(山形県) 市川昭男  
Akio Ichikawa



## 山形市役所絵画クラブの一会員として

山形市役所絵画クラブは、山形市役所職員からなる愛好会で私も一会員です。私が市職員時代に呼び掛けクラブを創設した経緯もあり、結成当時から会員です。

職員時代は、会員とスケッチ旅行に行ったり、プロのフードモデルを呼び素早く描く練習をしたり、山形の舞子さんをモデルに油絵を描いたり、それなりに活動してきましたが、市長になってからは、なかなか会員と一緒に行動する時間が取れなくなりました。しばし活動



香港に出張した際、ホテルからの景色をスケッチ

停止とならざるを得なくなりましたが、早朝一人で市内を散歩するようになると、普段見慣れている風景も「オヤ！」と目に留まるが増え、次第にスケッチブックを片手に出かけるようになり、30分位夢中でスケッチすることが楽しみにになりました。

夜、人通りで賑やかな飲み屋街も、早朝には別の顔を見せます。道路脇に腰を下ろしスケッチしていると、側のラーメン屋さんのおばちゃんが「どうぞ、あがつてけらっしゃい(召し上がってください)。ご苦労さま」と冷たいウーロン茶ときゅうり漬けを脇に置いてくれました。私を市長と知ってか知らずか分かりませんが、ありがたいことです。

また、こんなこともありました。山形市内には昔の白壁造りの土蔵(倉)がだいぶ残っているのですが、早朝、道路にどっかり座って土蔵をスケッチしていると、向こうから恐る恐る通行人が近づいてきました。近くまで来ると「なんだ、市長でないか。誰か老人でも苦しんで道路に座り込んでると思って、119番するところだっけ」と言われました。

こうして描いたスケッチを地域やシルバー人材センターの文化祭、市役所絵画クラブ絵画展に出展し、ご批評をいただいているところです。近いうちに山形市

民美術展に出品し、「山形市長賞」を狙いたいものだと思っています。

## 囲碁クラブの一会員として

これも職員時代からのことですが、今もって山形市役所囲碁クラブに席を置いています。職員時代は囲碁を愛する職員が大勢いたのですが、昨今、会員数はめっきり減ってしまいました。現在、6、7名の会員で昼休みに活動しており、私も時折職員と対局します。これとは別に市職員OBで構成している囲碁クラブは、逆に活性化しています。こんな有様ですの、OBと現職合同の囲碁大会を月1回開催し、私もできる限り出席しています。成績はさておきます。



「市民囲碁将棋大会」で、市民の方と対局する筆者(左側)

また、私の友人が子どもたちに囲碁を普及させようと一生懸命活動しており、私も市長として囲碁大会に出席し、プロ棋士から直接ご指導いただきながら、大変刺激を受けていました。そんな中、しばしば山形にきていただいていたプロ棋士の安藤和繁4段が、山形を大変気に入ってくれていることもあり、安藤プロの後援会を結成すべく働きかけたところ、多くの賛同者が集まり、昨年9月、私を会長とする後援会をめでたく発足することができました。安藤プロからご指導いただき、いつかは山形出身のプロ棋士が現れることを夢見ています。

昨年の11月には、日本棋院において自治体の長とプロ棋士が対局できる機会がありました(会長は秋田県大仙市長・栗林次美さん)。大竹英雄9段、林海峯9段、山城宏9段、梅木英8段、小川誠子6段、原幸子4段という錚々たるメンバーが出



プロ棋士と対局中(市町村長囲碁大会にて)

席してくださったその囲碁大会で、私は大竹9段、梅木8段からそれぞれ二面打ちで(一面は長野市長・鷲澤正二さん)五目置かせてもらい、大いに楽しみました。結果はもちろん「投了」。このような機会にはめったに恵まれないものです。これも市長になったおかげと山形市民に感謝しています。

なお、東京の小学校では、授業の一環(総合学習)として囲碁を全校に導入しているところもあると聞いています。ぜひ、山形市でも導入できないものか、教育委員会と検討していきたいと思っています。

## 倫理法人会の一会員として

毎週土曜日、朝6時半から1時間、「山形市蔵王倫理法人会」のモーニングセミナーに出席しています。

ご承知の方もいらっしゃると思いますが、倫理法人会は全国的な法人会員の組織で、各地域で経営者の集いやモーニングセミナーなどを開催しています。私も以前から顧問になってくれなしかと誘われていたのですが、なかなか腰をあげるまでには至りませんでした。しかし、私が大変お世話になっている方が倫理法人会の会長として熱心に活動しておられる姿をみて、倫理とはどんなものなのか、

経営者として何に惹かれて学んでいるのか興味があり、出席してみました。

朝早くから、多くの企業経営者の方々が非常に元気に挨拶をし、丸山敏雄著の「万人幸福の栞」を輪読します。各界の方々の講演を聞いて、その後、会員と一緒に朝食をとります。月に1度、会が始まる前に会場周辺の道路清掃もします。こんな形で一昨年の9月から会員となり、1年4カ月が過ぎました。朝5時半ごろ自宅を出発し、約2・5キロの距離を歩いて会場まで向かいます。道すがら、散歩をしている人、毎日走っている人、ゴミを拾っている人、いろいろな人とお会いしながら、散歩を兼ねて、天候の良い時はスケッチブックを持ちながら、そのセミナーに参加しています。

これまで市長という立場でお祝いを述べたり、ご挨拶をさせていただく機会は多かったです。人の話を聞く機会はほとんどありませんでした。各界の方々の話は、市長としての公務時にはなかなか聞くことができない話ばかりで、経営上の苦労した話、他県での倫理法人会の話、東日本大震災被災地の復興の話等々、非常に有意義です。

これからは倫理法人会の一会員として純粋倫理や経営倫理を学び、市政の運営にも役立てていきたいと思っています。